

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	せせらぎの理念では「笑顔で楽しい生活ができるように支援します」と「地域の方々から親しまれるホームになります」があり、一日の始まりに皆で唱和し意識付けをして実践につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で直接的な交流はできないが、利用者が施設の中でどのような生活をしているか「せせらぎ新聞」を通して地域に発信している。せせらぎを知ってもらうことで地域の一員であることをアピールし生活を支援している。	継続的にせせらぎ新聞による情報発信に努めている。 今後は、新型コロナの状況を見ながら別の方法での交流についても期待したい。		コロナやインフルエンザの様子を見て、可能であるときは地域の方と触れ合う機会を持つ。ホームの行事に参加してもらうなど。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍であっても、感染対策をして開催した。運営推進会議を活用した外部評価では時間を拡大して実施、地域の公民館を借りて外部評価に取り組むことができた。そこで得た話し合いをサービス向上につなげている。ヒヤリハットの予防対策などの強化などにもつながり、服薬ミスは減っている。	運営推進会議では普段の施設での様子をはじめとした運営状況の説明があり、意見が交わされている。 施設側の会議での意見を日々の取組に活かそうとする姿勢も感じられる。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市の担当者は運営推進会議に出席している。事業者のケアサービスを提供するうえで、困難なこと、喜びのつながることなど実情を積極的に伝えている。運営推進会議を活用した外部評価でも意見や助言を頂き、協力関係は築けていると思う。	運営推進会議を通して普段の様子を伝えてもらっている。 市担当者としてできる協力はしていきたい。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昨年の外部評価で頂いた助言で、「どういったものが拘束にあたるのか」、私たちがおこなっているケアについて見直してみた。離床センサーなど使用目的に沿ったケアであるな	・毎回、運営会議でも状況の説明があり施設側として、考えながら取り組んでいる様子が伝わっている。 ・安全を確保しケアに取り組んでいる。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者のプライバシーに配慮しつつ、けがをしないように安全を確保する。

				らば拘束にあたらぬなど知ることができた。安全を確保し抑圧的にならないケアに取り組んでいる。	・家族にもどのような内容でセンサーを付けることになったかなど説明を受け承諾している。		
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待防止委員会を中心に、虐待防止について内部研修を行っている。チェックリストを行い、意識付けを行っている。職員は自分の介助の仕方についても振り返る機会になっている。	・虐待防止委員会による内部研修を行い、チェックリストによる職員の自己管理ができている。 ・内部研修により、スタッフ個人が振り返る機会を設けていることは良い 外部の研修も活用することで、新たな気づきがあるかもしれないので外部研修利用も検討されてはどうか。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	外部の研修があるときは参加する。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域包括支援センターの担当の方に依頼し、包括支援センターの出前講座にて成年後見制度について学ぶ機会を設けた。日常生活自立支援事業についても同時に社協の職員の方が来訪し支援事業についてサービスの内容などを聞くことができた。現在は必要としている利用者はいないため支援にはつながっていない。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時は契約書をもとに説明を行い、契約書にはない疑問点やホームでの生活の様子など納得をもらえるように説明を行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議を活用した外部評価で家族アンケートを会議のメンバー並びに職員へ公表している。また、頂いた意見などは受け止め運営に反映している。	家族アンケートの集計表と意見は外部評価で表す。アンケートに答えた家族と面会などでホームを訪れる人が違っているのかもしれない。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族のアンケートでは結果を踏まえ、家族側とホーム側との温度差は少なくしていきたい。(ホーム側はやっていると思っていることでも、家族には伝わっていないことなど)
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者は会議や日々の生活の中でも職員の意見や提案を聞き、会社担当者や代表者に相談をしている。			

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は、毎週ホームを訪れ職員の様子や職員の声に耳を傾けている。努力や実績は評価している。	・面接などどのくらい頻度で行われているか？面接などは行われてはいないが、ホームを訪問した際は話をする機会はある。 ・ホームが抱えている課題の共有や解決に向けた協力は得られているか？	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内での研修は行っている。近くで行われる研修にはなるべく出席するように努め、認知症の事例検討会や栄養に関する研修会などに参加している。代表者の勧めに関わらず職員が進んで参加することの方が多い。	管理者、職員が参加したい研修に参加できる環境が整っているのであればいいと思います。	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部で開かれる研修会などには積極的に参加していく。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市の主催で開かれる交流会には欠席する施設が多い中、積極的に出席し、同業者や介護相談員と交流している。コロナ禍で介護相談委員の訪問の受け入れは見送ってきたが、5類以降は受け入れている。利用者が作った封筒を障害者施設へ贈り、交流をしている。封筒はお菓子の包装紙やお店の紙袋を利用し、利用者のレクリエーションにもつながっている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	要介護度によっては、介護される側になってしまうが、本人の力を生かして手伝ってもらえることや、一緒にできることで関係を築いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居することで馴染みの人に会う機会は少なくなっているが、面会を可能にしたことで一緒に働いていた人や親せきの人など会いに来てくれている。	コロナ禍でも状況を見ながら、面会の機会を設け、利用者が馴染みの人とのつながりを感じることができるように支援している。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一日の過ごし方は、何をして過ごすか本人の意向を聞いている。一人ひとりの力に合わせて関わり方や、提供しているものを工夫している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会や受診などで家族と話ができるときは、会話の中から本人の生活感や家族の意向や思いをくみ取り、介護計画に反映している。	・介護計画を作成するために、利用者やその家族の思いをくみ取ろうとしている様子がうかがえる。 ・施設側では昨年度の評価と比較してどう感じているか。面会の機会が増えたことで評価につながっていると思う。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画に沿ったケアを実施し、気づきや結果をケース記録に記入している。職員も業務に入る際はケース記録に目を通し情報を共有している。モニタリングで評価を行い、利用者の状態の変化やケアの結果で見直しをしている。	昨年度の自己評価と比べて、ケアプランの見直しにつなげていることがうかがえ、前進しているように感じる。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活のサービス以外にもその都度の本人の要望やニーズに合わせて買い物の代行や、美容室への送迎など柔軟に対応している。急な受診なども家族に代わり付き添い、その都度家族に報告している。	先日の運営会議で話されたケースからも、苦慮しながらも、柔軟に介護に取り組もうとしている様子を感じる。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	消防訓練では利用者も参加して、消火器の使い方など一緒に聞いている。コロナのこともあり、ボランティアの受け入れなどはなかったが、文化祭に参加できたことは本人の力を発揮しながら、豊かな暮らしを楽しむことができている。	コロナの状況を見ながら、文化祭への参加など少しずつ地域のつながりをまた持てるよう取り組まれているのは良い。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅にいたときからのかかりつけ医に継続して診療が受けられるように支援している。外来受診や訪問診療時には主治医に情報を提供して適切な医療が受けられるように支援している。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者が入院した際は、付き添い状態の説明と普段の生活などを提供できるようにしている。退院時も治療が終了段階で病院関係者及び家族と連絡を取り、退院時の利用者の状態も職員と共有して迎え入れる準備を整えている。	医療連携との連携を深めるなど体制整備に取り組まれている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の病状を踏まえ、本人に判断能力がない場合は家族と話し合い、事業所でできる医療行為なども医療連携看護師の方から説明してもらい看取り介護の同意を得ている。その都度、主治医に相談・指示を受けてケアに取り組んでいる。	上記に同じ	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	評価期間中は応急手当の訓練は行っていないが、救急要請の119番通報などの訓練は年に2回は訓練している。			痰のつまりや食物のつまりなど、急変時には介護員でもできることを学習し知識と技術を身につける。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	火災発生時の避難訓練は年に数回実施している。夜間一人で勤務している職員が一人で行う訓練も行っている。災害時は何かあれば地域の代表者を通して協力を求める体制を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発生時は時間が問題でまわりに早く知らせることが大切と確認する</li> <li>・防災マニュアル等あればぜひ見せてほしい。防災マニュアルはなくその都度、訓練の計画を立て実施している。</li> <li>・防災訓練で真剣に取り組む様子が見られた。</li> <li>・防災訓練の中での気づきや、それに対して職員同士でどうすればよいのかを協議している様子が見えた。</li> </ul>	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	防災マニュアルは訓練を通してマニュアル化していきたい。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりに合ったこのプライバシーに配慮した言葉かけを心がけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年Aだったが何故Bなのか。丁寧な言葉かけは出来ているが、慣れ慣れいように思われる場面もある。</li> <li>・各個人に応じた配慮をされていると思われる</li> <li>・具体的にどんなことを示していただけると評価しやすい。</li> </ul>	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	すべての希望に応えることは難しいが、コロナが5類に移行してからは、家族の希望で温泉旅行に出かけることや面会にも応じている。家族と過ごせる時間を大切にできていると思う。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事はすべて手作りで、食事が楽しいものになるように月に1、2回は行事食を提供している。盛り付けや皮むきなど利用者と一緒に作業することもある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事食提供が良い</li> <li>・行事食を楽しまれているのではないか。食事の提供量に際し、利用者が関わる(役割を持)のも利用者にとって、やりがいなどいい面があると思われる。</li> </ul>	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	健康チェック表を活用し食事の量や水分量を把握している。一人ひとりの状態や口腔環境にも合わせた形態を工夫し誤嚥に注意している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	義歯の管理や口腔内衛生は自分でできる人は自分で行い。そうでない人は声をかけ促し、または居室の洗面台まで誘導し歯磨き、うがいはできる範囲で本人にやってもらう。仕上げが必要な場合は介助している。	<p>個人の状況に応じた対応をされているようです。「十分にできている」になるには不足しているものは何か。</p> <p>自立している人に対してどこまできちんとできているかは把握できていない。立ち入れない部分もあり、本人任せでも自立支援ではAが良い。</p>	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	健康チェック表を活用し、一人ひとりの排泄を記録することで排泄のパターンを把握している。便秘を解消するために処方されている薬でコントロールを手助けしている。便秘薬にばかり頼らず、手作りの寒天などを提供し予防にも取り組んでいる。一人でトイレに行けない人も定時や訴えにトイレ誘導を行いオムツの使用を減らしてスキンケアにも心がけている。	<p>単に排泄の失敗を防ぐだけでなく、排泄の自立や便秘予防、スキンケアなど良く行き届いていると思われる。</p>	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている	一人ひとりの希望に応じて入浴を提供することは難しく、業務の都合になってしまっている。入浴は楽しみと清			

			C. あまりできていない D. ほとんどできていない	潔保持の大切なケアで週2回の安定した入浴を提供している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとり入眠できるまでのスタイルは様々で、自室にあるテレビを観たり、携帯電話で家族と話をするのが日課になっていたり、預かっているお菓子や飲み物を部屋に持ち帰り本人のタイミングで食べても、生活習慣を理解し安心して休めるように支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの薬の管理を行い、服薬ミスを起こさないように取り組んでいるが事故が発生してしまうことがあった。目的や量については定期的な診療以外にも、変化や症状に合わせて主治医に相談して、その都度適切な医療が受けられるように支援している。	・改善されつつある ・誤薬を防げるよう様々な工夫をされているのは普段の運営推進会議からもうかがえている。 評価項目としては誤薬防止という観点のみならず、薬の目的、副作用などへの理解などが求められていることに留意。	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	テーブル拭きや洗濯物干しなど一人ひとりの力に応じ役割を持つことや美容室への送迎など気分転換になることも支援している。行事の担当者が計画を立て利用者に楽しんでもらえるようにしている。誕生日会なども本人の食べたいものを聞いて提供することもある。	張り合いや喜びのある日々を過ごせるような支援をされている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年、秋は菊の花、春は桜など季節の花を観に誘い出かけられるように支援している。要介護度の高い利用者を連れて行くことは実情としては難しい。	季節を楽しめるような支援をされている。 日常的な外出としてはどうか。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は自分の財布で買い物をしてきた利用者もいたが、買い物に外出する機会が減り、必要なものは職員が買うことが多くなった。	昨年B		
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族からの電話や本人からかけたときは自由に話ができるように支援している。郵便物も本人に手渡している。	昨年A 今回もAで良いのでは		
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	建物内部は一人ひとりの居室でプライバシーは守られている。共有のスペースは季節の壁飾りなどで四季を感じられるように工夫している。コロナのこともあり座席は向かい合わせにならないようにしている。	共有スペースは整理されており、作品の展示などで居心地のいい空間を作るように配慮されている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
<b>IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分の思いを言葉に表わせる人は意向に沿った暮らしができています。表現できない人は声をかけ気にかけています。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人がこれまでの生活歴とその時の切実な思いを話したいときは、寄り添って話を聞き支援に努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調の変化や薬の影響はなど職員や医療連携看護師はよく観察して情報を共有することで、適切に医療が受けられるように支援している。安全面は、転倒のリスクや排泄の失敗がある人は、離床センサーを活用することで、安全面を確保し、ケア・支援を受けることができています。	医療機関との連携を強化するなど医療面での支援は行き届いている。安全面についても転倒リスク対応など工夫している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	



43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人のペースを理解し、暮らし方や習慣にあった生活を支援することができている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人は自分に合った馴染みに物を自室に持つことができている。テレビやラジオ、仏壇、足のマッサージ機など自由に使用することができている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通院時こだわりが多い時など、ポケットに持っていたいものがあり笑顔が見られた。</li> <li>・馴染みのものを持ち込めて利用できている。</li> </ul> 制限により窮屈な暮らしになっている印象はない。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナのこともあり自由に外出ことは難しいこともあるが、季節の花を観に出かけたり、町の文化祭には自分たちが出品した作品を観に出かけている。ほかの団体の作品も観ることで催事に参加しているという実感を、味わうことができている。	状況を見ながら外出したり、催事に参加できている。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人ができなくなったことが多くなっても、職員との会話で声に出して笑い、冗談を言って職員を楽しませてくれたり、関わりを大切に支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	活動の場面では、お手伝いをしてくれていると、利用者同士感謝の気持ちを伝え合い、コミュニケーションの機会にもなっている。本人の暮らしの励みになるように支援している。	活動の場面などで、利用者同士のコミュニケーションにより、生き生きと過ごされている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	知人や昔一緒に働いていた人の面会の希望があるときは、直接会って話ができている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭参加</li> <li>・近隣、地域の人々の交流は難しいか。旧友など馴染みの人たちとの交流はできている。</li> </ul>		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている	GH にいることを受け止めている人、受け入れることができない人、それぞれの思いを職員は理解し、本人も職員を信頼できることがより良い生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に利用者が施設の中でどのような生活をしているか「せせらぎ新聞」を通して地域に発信していることで、せ</li> </ul>	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている	

			<p>C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>活の基本となり、信頼関係を築き安心して生活ができるように努めている。</p>	<p>せらぎを地域に知ってもらうことができている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け止めることができない人への具体的な支援の方法は？家族と会える機会を設けている(外出など)</li> <li>・利用者は住み慣れた家を離れ、施設で生活することにそれぞれの思いがある。</li> <li>・施設では利用者それぞれの思いを受け止めて、安心でき、より良い日々を送れるように様々な支援をされている。</li> </ul>	<p>C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	
--	--	--	---------------------------------------	---	---	---------------------------------------	--